

ぱくぱくげんきっこ教室

子どもの食育推進を図るため、明日香村健康づくり課が年数回『ぱくぱくげんきっこ教室』を開催してくださっています。命に感謝の気持ちを持ち、挨拶が習慣づけられるように今回のテーマは「いただきます・ごちそうさま」です。例年ならば5歳児が鰯の手開き体験をしていたのですが、今年はコロナの感染拡大防止の為、栄養士の先生がハマチを開いて、全園児に見せてくださいました。



「お魚の名前、いくつ知ってますか？」
「たい」「マグロ」「あまご」「うなぎ」「さば」
「あゆ」……意外とたくさん知ってびっくり!!



おっきな
おさかな!!



これが
内臓…?



おさかなにだって、骨があるんだよ!!



頭を落として、内臓を取り出し3枚開きにしたところを、そばまで行って見せてもらいました。



日頃食べているお肉やお魚にも命があること、畑で大切に育ててもらった野菜にも命があることを学びました。給食も残さず食べよう!と約束をしました。とても貴重な良い経験ができたと思います。